

障害者週間の行事の一環として、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が開催します。

●お申し込み・お問い合わせは、各セミナーの主催団体まで直接ご連絡ください。

●入場は無料です。

2日目 12月6日(金)

1

特定非営利活動法人 日本トゥレット協会

▶ <http://tourette-japan.org/>

TEL: 045-315-3288 FAX: 045-315-3288 e-mail: info@tourette-japan.org

9:30



11:20

チック・トゥレット症を知っていますか？～正しい理解と支援のために～

多彩なチックを主症状とする神経疾患「トゥレット症」。自分の意思とは関係なく、ふいに声や言葉が出たり身体が動いたりする症状から奇異な目で見られてしまう等、無理解から起こる誤解や偏見に当事者や家族は辛い思いをしています。社会全体の理解が広がるように、医学的な解説と共に当事者のメッセージもお伝えします。

2

社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

▶ <https://www.nissinren.or.jp/>

TEL: 03-3565-3399 FAX: 03-3565-3349 e-mail: tsutaeru@nissinren.or.jp

11:50



13:40

“伝える力・受け取る力” 障害理解について考えるワークショップ

障害のある人が自分の困りごとを相手にうまく伝える力を高めることや、受け取る側の人とその困りごとを共有することを考えます。社会のなかにあるバリアへの気づき、そして、気づきから障害理解にむけた社会のあり方や心のバリアフリーについて、みんなでディスカッションしながら考えてみませんか。

3

特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構

▶ <http://www2.cudo.jp/wp/>

TEL: 03-6206-0678 e-mail: support@cudo.jp

14:10



16:00

見落とされてきた色覚障害者への社会の対応 色覚タイプによって異なる困難

人の色覚の多様性は200年ほど前に発見されました。この色覚型には、驚くほどの多様性と連続性があり「正常」と「異常」に大別しては理解も進みません。そしてどんどんカラフル化してゆく社会は、バリアとコミュニケーション問題を新たに作り出しています。情報デザインに使う配色は誰にでもわかりやすいでしょうか。これらの問題を考えるきっかけになるように企画しました。

4

公益社団法人 日本てんかん協会(波の会)

▶ <https://www.jea-net.jp/>

TEL: 03-3202-5661 FAX: 03-3202-7235 e-mail: jea@e-nami.or.jp

16:30



18:20

皆さんは“てんかん”を知っていますか～全国に100万人のなかがいます～

皆さんも聞いたことがある“てんかん”。「泡を吹いて倒れる」、「口に何かを噛ませる」、「家系や育て方のせい」…。こんな誤解をしていませんか？ てんかん治療の専門医と、自らもてんかんとともに生きる看護師（講談師）が、とても分かりやすく楽しくてんかんについて話します。身近な病気の一つとして、是非てんかんをご理解ください。